

「先生の幸福とは何ですか？」

平成 29 年 2 月 14 日

●おかぴさんからの質問

先生にとって幸福とはなんですか？ 3月に今年度の「世界で最も幸せな国ランキング」が発表されるとのことですが、昨年度は、対象となった157カ国・地域中、日本が53位でした。一体何を指して「幸せ」とするのでしょうか？社会保障制度が充実しているからでしょうか？

●西田昌司の答え

先日、ある御方のお祝いの会が京都でありまして、その御方のお話を聞いてきました。この御方は八十三歳になるクリーニング業の社長さんで、厚生労働省から表彰されたのですが、お話を聞いているうちに「これこそがまさに幸せだな」と感じました。

この御方は十八歳の時から丁稚奉公に行って十年間に渡ってクリーニングの技術を身につけられたのですが、当時は今のように技術が発達しておらずに大きな洗濯機やアイロンもありませんでしたし、全てが手作業だったそうです。そうやって技術を身につけられた後に開業されて今に至るのですが、その間に大手のクリーニング屋との価格競争に晒されたりしながらもしっかりと事業を続けてこられました。八十三歳の今でも現役で働いておられますし、クリーニングの腕を見込まれてたくさんのお客さんがついています。奥さんも元気で一緒に働いていますし、長男が家業を継がれています。

「これだ」と思える仕事を一筋でやってきて、そのお陰で家族みんなが元気で健康に過ごせられて、そして次の世代に仕事を渡していけるというのは、当たり前のように思えてなかなかできないことです。世間では、事業が

上手くいかなかったり、伴侶と死に別れたり、後継者がいなかったりといろいろなことがあるものです。私はこの御方の幸福な人生のお話を聞いて、自分もあやかりたいと思った次第です。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>